2020年7月30日

各　位

会　社　名　株式会社ジェイグループホールディングス
（コード番号３０６３：東証マザーズ）
本社所在地　名古屋市中区栄三丁目４番28号
代　表　者　代表取締役　新田　二郎
問合せ先　取締役副社長　林　芳郎
電話番号　（052）243-0026（代表）
（URL https://www.jgroup.jp/）

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○開催状況

開催日時	2020年7月30日　16：00～17：00
開催方法	オンラインによるライブ配信開催
説明会資料名	2021年２月期第１四半期決算説明資料

【添付資料】

決算説明会において使用した資料

以上



2021年２月期第１四半期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス

（3063）

2020年７月30日

目次

1. 第1四半期連結決算概要

業績の概要 ---------- 4

店舗の営業状況 ---------- 5

セグメント別業績概況 ---------- 6

第1四半期中の資金繰り改善対策 ---------- 7

既存店収益状況 ---------- 8

店舗数の推移 ---------- 9

2. 今後の取り組み

今後の取り組み①（事業施策） ---------- 11

今後の取り組み②（営業施策） ---------- 12

今後の取り組み③（コスト削減） ---------- 13

EXIT NISHIKIを7月1日グランドオープン ---------- 14

EXIT NISHIKI に直営店15店を新規オープン ---------- 15

固定資産の売却 ---------- 16

今期の業績見通し ---------- 17

店舗でのコロナ対策（参考資料） ---------- 18



1. 第1四半期
連結決算概要

1. 業績の概要

売上高：773百万円、営業損失：582百万円、純損失：1,639百万円

コロナ禍による店舗休業による売上大幅減。コスト削減策を打つものの過去最大の損失を計上

	2020年2月期 第1四半期		2021年2月期 第1四半期		前年同期比（%）
	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	
売上高	3,579	100.0	773 ①	100.0	21.6
売上原価	1,163	32.5	292	37.8	25.1
売上総利益	2,415	67.5	481	62.2	19.9
販売管理費	2,439	68.2	1,063	137.5	43.6
営業損失	△23	－	△582	－	－
営業外収益	43	1.2	83	10.8	192.1
営業外費用	68	1.9	33	4.3	48.1
経常損失	△48	－	△531	－	－
特別利益	13	0.4	0	0.0	2.7
特別損失	－	－	1,154 ②	149.3	－
税金等調整前四半期純損失	△35	－	△1,685	－	－
親会社株主に帰属する四半期純損失	△38	－	△1,639	－	－

① 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、感染予防及び政府・地方自治体等の営業自粛要請により営業時間短縮、休業を行ったことにより、売上高は前期比78.4%の減少。

②－1 上記、感染症の拡大防止の取組として、店舗の臨時休業や営業時間短縮等の対応に起因する費用及び損失等 **559 百万円**を特別損失に計上。

②－2 感染症の影響を勘案し、固定資産の帳簿価格を回収可能価格まで減額し、当該減少額 **567 百万円**を減損損失として計上。

2. 店舗の営業状況

	3月末時点	4月末時点	5月末時点	6月末時点（参考）
総店舗数（FC店舗除く）	**132**	**134**	**135**	**143**
1. フル営業店舗数	**89**	**1**	**15**	**43**
総店舗数に占める割合	67.4%	0.7%	11.1%	30.1%
2. 営業時間短縮店舗	**26**	**0**	**30**	**50**
総店舗数に占める割合	19.7%	0%	22.2%	35.0%
3. 休業店舗数	**17**	**133**	**90**	**50**
総店舗数に占める割合	12.9%	99.3%	66.7%	35.0%
店舗売上前年対比※	42.0%	3.3%	4.2%	21.8%

※FC店舗を除く前年の店舗の売上合計と今期の店舗の売上の合計の対比。

3. セグメント別業績概況

＜飲食事業＞
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、営業自粛要請により営業時間短縮、休業を行い、減収減益。**前年対比18.6%**。

＜不動産事業＞
前期中に売却のテナントビル賃料減はあるものの、その他、テナントビルの賃貸収入は引き続き高稼働を維持し、安定的な売上高・利益を計上。

＜ブライダル事業＞
新型コロナウイルス感染症の影響から**婚礼施行が30%となり、60%が延期、10%がキャンセル**。

＜その他の事業＞
広告制作事業を再編し、飲食事業子会社の自社制作に切り替えによりグループ内取引が減少。また、新型コロナウイルス感染症の影響で卸売関係の取扱高が減少。

（百万円）

		2020年 2月期 第1四半期	2021年2月期 第1四半期	前年同期差額	前年同期比（%）
飲食事業 居酒屋、レストラン等での飲食サービスの提供	売上高	3,236	**602**	△2,633	18.6
	営業利益	150	**△399**	△549	－
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	505	**455**	△50	90.1
	営業利益	43	**52**	8	120.1
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	172	**55**	△116	32.2
	営業利益	0	**△25**	△24	－
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	229	**43**	△185	19.1
	営業利益	5	**△10**	△15	－
調整額	売上高	△564	**△384**	180	－
	営業利益	△223	**△199**	23	－
合計	売上高	3,579	**773**	△2,805	21.6
	営業利益	△23	**△582**	△558	－

4. 資金繰り改善対策

新型コロナウイルス感染症の影響による事業環境の変化に対応して資金繰り対策を実施

銀行借入

金融機関からの借入　**21億9千万円**

⇒3月～6月末現在において新型コロナウイルス感染症対応のため金融機関からの借入

助成金

助成金の申請　**総額3億5千万円**

⇒新型コロナウイルス感染症対応に伴う休業に対する雇用調整助成金、休業協力金、家賃給付支援金、持続化給付金などの助成金の申請
（第2四半期に特別利益として計上の見込み）

支払家賃の交渉

家賃の減額または猶予　**総額9千万円**

⇒3～5月支払い分の家賃支払の減額または猶予の交渉

販管費の削減

販売費及び一般管理費の削減額　**2億5千万円**

⇒求人費、広告費、販促費、旅費交通費、消耗品費などの削減

5. 既存店収益状況

全既存店売上高の対前年同期比



居酒屋業態既存店売上高の対前年同期比

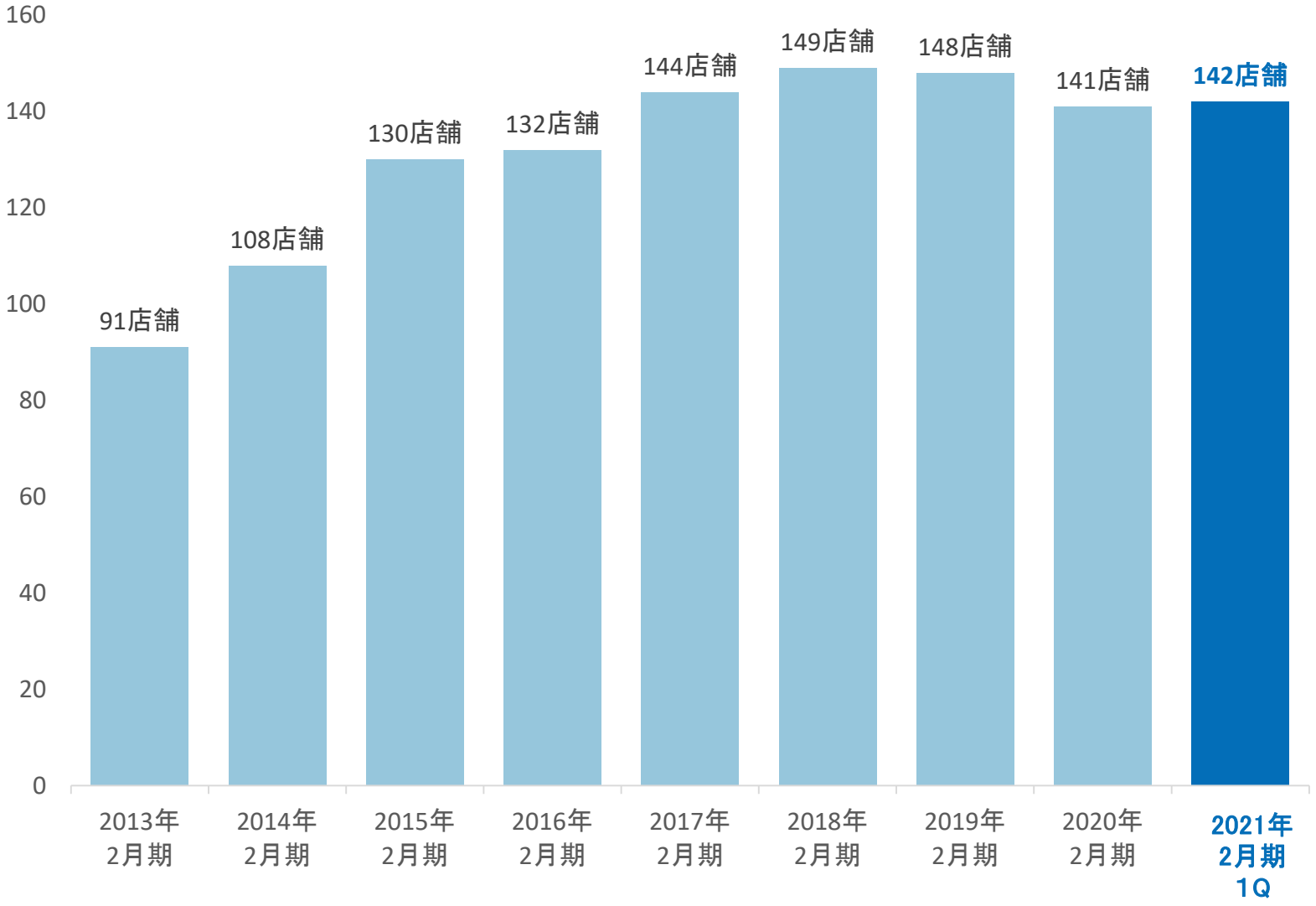


		2019年							2020年		2020年2月期実績	2020年			2021年2月期第1四半期実績
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	4月	5月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	90.1%	96.5%	91.7%	91.8%	87.7%	95.9%	91.5%	101.5%	96.0%	95.0%	46.8%	2.7%	2.8%	18.8%
	来店客数前年同月比	93.3%	98.9%	94.1%	94.8%	90.7%	99.0%	100.3%	102.6%	95.9%	96.7%	52.2%	3.9%	3.2%	21.0%
	客単価前年同月比	96.5%	97.5%	97.5%	96.9%	96.6%	96.9%	91.2%	98.9%	100.1%	98.2%	89.5%	68.0%	87.9%	89.2%
レストラン業態	売上高前年同月比	101.6%	93.9%	99.2%	102.6%	88.7%	107.0%	107.9%	97.8%	103.6%	99.0%	32.4%	7.5%	11.4%	17.5%
	来店客数前年同月比	101.5%	95.0%	99.6%	99.5%	91.2%	95.9%	96.9%	88.5%	92.8%	95.6%	38.0%	10.6%	12.7%	21.0%
	客単価前年同月比	100.1%	98.8%	95.6%	103.1%	97.3%	111.6%	111.3%	110.6%	111.7%	103.5%	85.2%	71.3%	89.2%	83.6%
カフェ業態	売上高前年同月比	104.8%	98.9%	95.6%	87.6%	84.9%	83.8%	82.9%	97.8%	91.0%	93.1%	69.9%	6.1%	6.9%	30.3%
	来店客数前年同月比	102.5%	102.1%	99.8%	87.8%	84.3%	86.1%	88.0%	102.6%	97.7%	94.7%	76.3%	6.5%	7.3%	32.4%
	客単価前年同月比	102.2%	96.9%	95.8%	99.8%	100.7%	97.3%	94.2%	95.3%	93.1%	98.3%	91.6%	94.6%	94.8%	93.4%

※既存店基準:開店日より 24 ヶ月を経過した店舗を対象としております。

6. 店舗数の推移

2021年2月期第1四半期時点で新規出店4店舗・退店3店舗となり
69業態、142店舗体制となる





2. 今後の取り組み

7. 今後の取り組み①（事業施策）

大型店舗や空中階店舗を閉鎖もしくは業態変更し、海外店舗を撤退。
小型店舗及び路面店舗へのシフトを図る。

不採算店舗の閉鎖

空中階店舗・大型店舗を主に、
コロナ禍により不採算が見込まれる店舗の閉鎖（12店舗予定）

業態変更

新しい生活様式・ニーズにあわせた店舗へ転換（20店舗予定）

◆大型店舗を複合業態店舗へ転換
◆大宴会依存度の高い店舗を個室へレイアウト変更
◆路面店をより高収益業態へ転換（開放型・二毛作・専門性）







海外事業の撤退

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、
不採算となる海外店舗を撤退

8. 今後の取り組み②（営業施策）

同一エリアに多業態を展開している強みを最大限活かす

サブスクリプション　全業態で使える飲み放題サブスクリプションカード

出前サービス　グループ店舗間の出前サービス

グループ販促　グループ販促の強化によるエリア内グループ店舗での顧客の囲い込み







既存店の新たなる活用

集中加工店舗　集中加工店舗を作ることにより、エリア内の店舗の品質の安定と効率化を図る。

ゴーストレストラン　ゴーストレストラン事業への参入とデリバリーの強化

9. 今後の取り組み③(コスト削減)

更なるコスト削減により対前年 6億円 /年の経費削減

人件費の削減

◆役員報酬・管理職給与の削減(6ヶ月)
　代表取締役50%、役員・監査役30%、管理職10%

◆みなし残業時間の圧縮と総労働時間の削減

拠点の縮小

◆自社物流センターを閉鎖し問屋物流へ一元化

◆東京支店を閉鎖し名古屋本社に一元化

固定費の削減

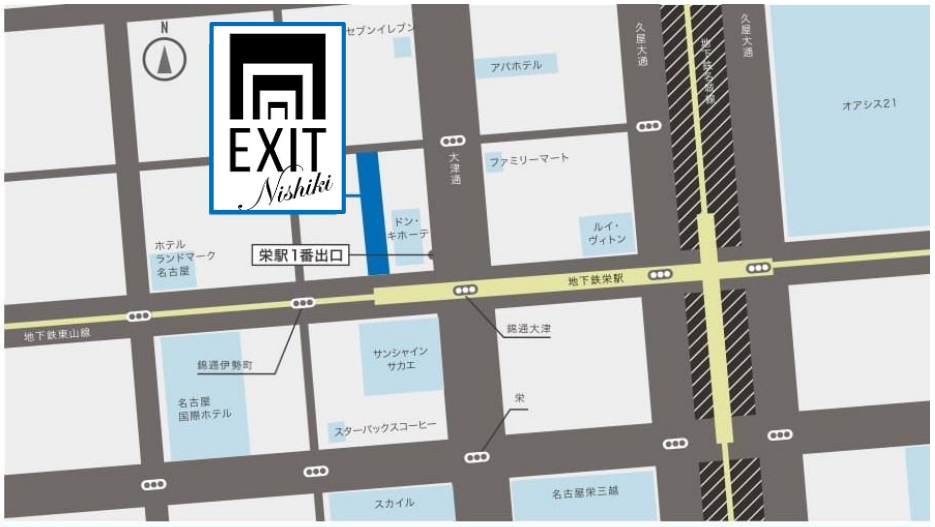
◆本社間接部門のスリム化(配置転換により約20名削減)

◆間接部門の経費削減 1.2億円 /年

◆家賃減額と新エネルギーへの切り替えによる、
　電気ガス代金の削減

10. EXIT NISHIKI（商業ビル）を7月1日グランドオープン

社外テナント17店からの安定した賃料収入の確保と、直営15店の収益拡大を図る



名古屋で一番の繁華街 栄の錦エリアで駅から歩いてすぐの好立地



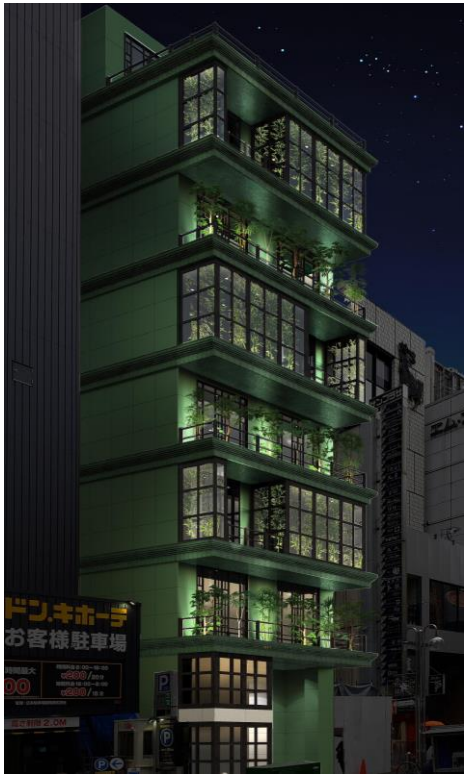
南北に 3 棟を突き抜ける高さ 5m 長さ 70m の壮大な横丁エリア

ビル3 棟・飲食店を中心とした大規模商業施設

敷地面積：北・中棟/469.20 ㎡・南棟/104.50 ㎡

階　　数：北・中棟/ 地下2 階 地上9 階
南棟/ 地下1 階 地上3階



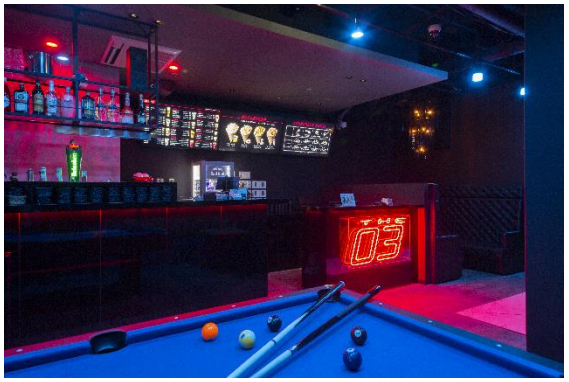


11. EXIT NISHIKI に直営店15店を新規オープン



LA BOCA GASTRONOMIA

スペイン料理をフレンチの技法や日本の食材でアレンジするスペイン美食レストラン



THE 03

ダーツ、シューティング、ビリヤード、卓球などが楽しめるアミューズメント＆スポーツバー



東京おでんラブストーリー

東京発名古屋初出店。ノスタルジーを味わえる、昭和レトロな屋台空間のおでん居酒屋



BLUE Water Shrimp & SEAFOOD CO. HONOLULU · JAPAN

ハワイで行列の絶えないガーリックシュリンプを完全再現したテイクアウト専門店



狼牙包包軒
ロウガプウプウケン

痺辛料理や点心中華料理など豊富に楽しめる中華酒場



錦三 GOLDEN 街

個性豊かなコンセプトのバーが集まるエリア

12. 固定資産の売却

1．商業ビル（ダイヤモンドウェイ）
　　6月末　契約済み

2．自社物流センター
　　7月末　売却済み

3．賃貸マンション
　　7月末　売却済み



他の不動産についても流動化を進めていく

13. 今期の業績見通し

業績予想の前提	**新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に収束に向かうと仮定**
売上高の推移	**飲食店舗の売上高を前年同期比第2四半期約40%、第3四半期約75%、第4半期約80%と想定。**

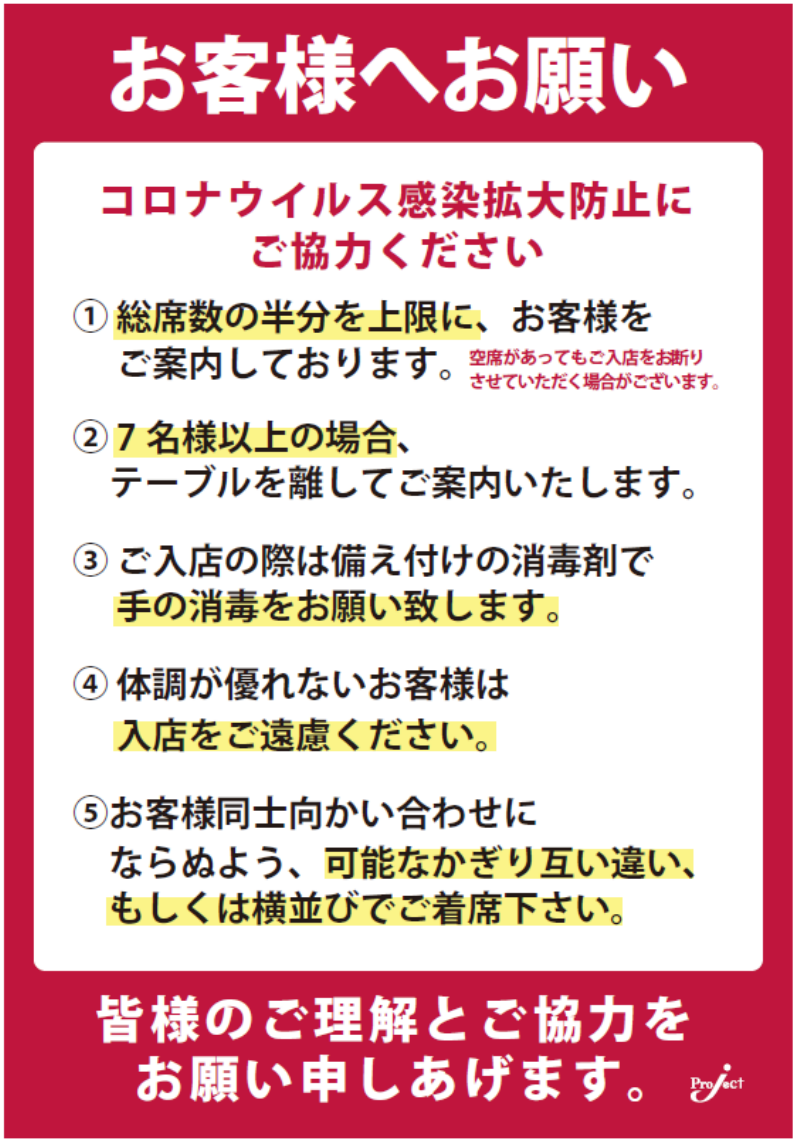
（百万円）

	2020年2月期 通期実績	2021年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	14,210	10,500	△26.1
営業利益	91	△500	―
経常利益	8	△470	―
親会社株主に帰属する当期純利益または純損失	△174	△1,500	―
配当金　※	中間　1.5円 期末　1.5円	中間　－ 期末　－	

※2021年2月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルスの影響が現時点では先が見えず、合理的な配当予想の判断が困難なことから、中間及び期末の配当については未定とします。

14. 店舗でのコロナ対策（参考資料）





お問い合わせ先

【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部　IR担当

TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。
また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計
画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。